

箱根ヶ崎獅子舞

瑞穂町無形民俗文化財

所在地：瑞穂町箱根ヶ崎



箱根ヶ崎の獅子舞の起源は未詳ですが、江戸時代初期には既に演舞が実施されていたと考えられており、安政4年（1857）には獅子頭を再建した記録が残されています。江戸時代には盛んであったものの、元治元年（1864）、幕末の混乱の中で一時中断されたようです。その後、明治の半ば頃再興され、明治26年（1893）10月13日に挙行された、鎮守の臨時祭礼の際獅子舞が奉納されました。以来、大正時代にも、狭山神社や加藤神社の祭礼に奉納された記録が残っています。箱根ヶ崎の人々は、獅子舞の奉納により、五穀豊穡や家内安全等を祈願しました。